

Y06b インターネット望遠鏡を利用した生涯教育の試み

上田晴彦、成田堅悦(秋田大学)

インターネット望遠鏡はコンピュータと理科教育・天文教育を有益に結び付ける魅力的な施設であり、教育利用に対して有効であるといわれてきた。我々もこれまでもインターネット望遠鏡を利用したさまざまな教育実践をおこなってきたが、小学生を中心とした低年齢層を主とした利用であった。一方近年の日本では生涯学習の重要性が認識され始めており、特に高齢者を対象とした教育法・教育設備の開発は急務である。明らかにインターネット望遠鏡は夜間観測が困難な高齢者や障害者などにとってつけの設備であるが、現時点ではその教育実践や教育効果に関する報告は不足しているという問題がある。

そこで我々は2010年1月上旬に実施した放送大学秋田学習センターでの面談授業で慶応大学インターネット望遠鏡を利用し、中・高年者中心の年齢層に対する教育効果を調べた。その結果、1)インターネットを経由した星の観望に興味を持ったのは女性が多い、2)インターネット望遠鏡は生涯教育において利用価値がある、3)地球の裏側の夜空の観望は興味深い、と回答した学習者が多数を占めた。一方で4)天体が期待通りに見えたかについては、やや期待外れといった回答が目立った。これらの結果について、本発表で詳しく報告することにする。